

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 茨城県立三和高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ III ・ IV ・ V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	全生徒（1学年120名、2学年99名、3学年98名）及び 教職員（34名）の計351名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック教育を実践することにより、本校のオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
5 取組内容	1. 事前学習 講演会での内容理解がより促されるように、事前指導を行った。講師の決定が遅くなってしまったため、時間をとって瀬立選手の紹介を行うことはできなかった。そのため、各教室に瀬立選手の紹介を記入した掲示物などを用いて、事前の理解を図った。 また、パラリンピックへの理解を深めるために2学年生徒（20名）に対して、実際の講演とは違う種目であるが「ボッチャ」の授業を実施した。教具から生徒自身で手作りし【図1】、審判も生徒自身で行うことで、障がいを持つ方でも待たない方でも楽しめるスポーツがあるということを生徒自身が深く理解できた。 2. 講演会 講演会当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1、2学年生徒は体育館で、3学年生徒は各教室で体育館のライブ映像を見ながら講演を聞いた。瀬立選手ご自身が用意したパワーポイントの資料に基づきお話をいただき、実際にカヌーの用具に触れさせていただいたりすることで分かりやすい解説をしていただいた。【図2】講演の中では「笑顔は副作用のないクスリ」という瀬立選手のお言葉が特に印象深く、実際に多くの苦難を経験されてきた瀬立選手のお言葉に多くの生徒が感銘を受けた様子であった。



【ボッチャ作成の様子】



【カヌー用具に触れる生徒】

3 事後指導

講演会終了後に、全生徒に対して講演会を振り返っての感想文を作成させた。

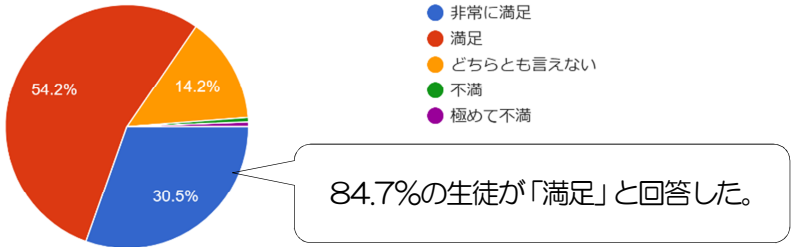
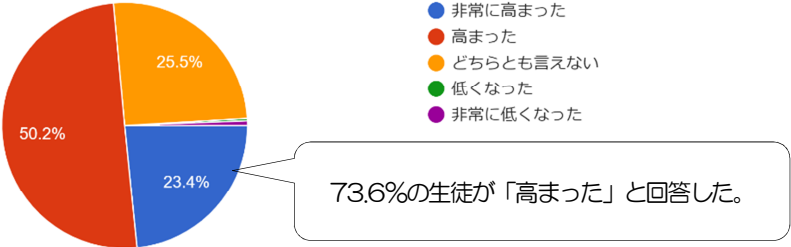
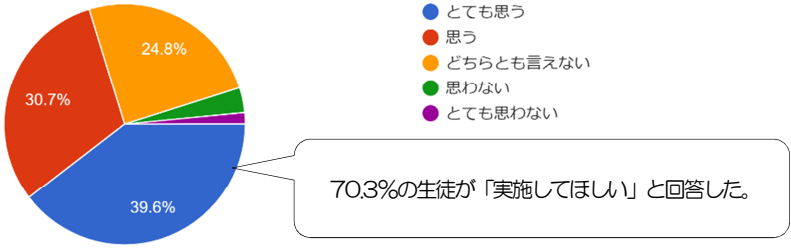
6 主な成果

事後学習として、講演会後に生徒に感想文を記入させた。瀬立選手が実際に自分の足をたいてみて感覚がないことを確認したり、実際の迫力あるレースの映像を確認したりすることで大きな衝撃を受けた生徒が多かったように思う。加えて、生徒との年齢差がそれほどない瀬立選手自身のお言葉はより親近感を感じながら、話に入り込みやすかった生徒が多いようだ。

同時に、「瀬立選手を応援したい」「パラリンピックに興味があった」等のコメントも多くあり、見るスポーツ・支えるスポーツとしての観点も育成することができた。生徒が書いた感想文の一部分とアンケート結果を下記に記す。

【生徒感想文 ※一部抜粋】

- ・今日の講演会がなければ、パラリンピックがどのようなものかあまり分かりませんでした。世の中では瀬立モニカ選手のように、障害を抱えながらもスポーツが大好きで真剣に向き合っている人がいることに、とても関心がもてました。私も一人のスポーツ選手として、競技は違うけれども本当に尊敬しています。
- ・私が講演の中で特に心に残った言葉は「笑顔は副作用のないクスリ」という瀬立さんのお母さんが言った言葉です。障害を抱えている人が健常者よりも損をしているというのは違うと思います。今回のお話を聞かせていただいた中で健康とは心がたくましく、強い人のことをいうのではないかと考えました。
- ・私は自分たちが障がいをもつ方に対してできることを考えました。障がい者は私たちに見えないところでいろんなことを考え、悩んでいると思います。私たちはその人のために「何ができるか」「どんなサポートをすべきか」を考えて手助けができるようにしたいと思います。
- ・瀬立選手の車いす生活になった理由やその時の心境などをお話しいただき、今の自分とその当時の瀬立選手を比べさせていただいたときに今の自分は何を頑張っているのだろうと考えさせられました。そしてこの講演会を通してこれからの人生への大きな勉強ができました。
- ・もし自分が、何かをきっかけに体の一部が不自由になったとき、経験してきたスポーツや趣味を見つけることで、何か目標にして前向きに生きられるようなメンタルづくりをしていきたいです。
- ・私たちが思っている以上に体の一部に不自由さを抱えている人たちは、現状をポジティブに抱えている人が多く、新しい気づきや価値観、考え方を見つけて生活していくことができているのかなと思いました。だから、お互いの認識の差をできるだけ少なくし、考え方の共有などをしていくことができたらいと思いました。
- ・私は、スポーツがあまり得意ではないけれど、オリンピック、パラリン

	ピックなどのスポーツ競技に興味がわいてきました。また、カヌーの他にも別のスポーツにも興味が出てきたので、オリンピックの開催はどうなるかわかりませんが、テレビなどで見てみようと思います。 【講演終了後のアンケート結果（生徒 325 名 回答）】 今回の講演会の満足度はどのくらいですか。 325 件の回答  <table border="1"> <caption>講演会満足度アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に満足</td> <td>30.5%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>54.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>極めて不満</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> 84.7%の生徒が「満足」と回答した。 講演会前とくらべて、自分のオリンピック・パラリンピックに対する興味は高まりましたか。 325 件の回答  <table border="1"> <caption>講演会前後の興味変化アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>興味の変化</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に高まった</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td>高まった</td> <td>50.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>25.5%</td> </tr> <tr> <td>低くなった</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>非常に低くなった</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> 73.6%の生徒が「高まった」と回答した。 アンケートの結果からも、生徒にとって有意義な講演会を開催できたと感じている。	満足度	割合	非常に満足	30.5%	満足	54.2%	どちらとも言えない	14.2%	不満	0.1%	極めて不満	0.1%	興味の変化	割合	非常に高まった	23.4%	高まった	50.2%	どちらとも言えない	25.5%	低くなった	0.1%	非常に低くなった	0.1%
満足度	割合																								
非常に満足	30.5%																								
満足	54.2%																								
どちらとも言えない	14.2%																								
不満	0.1%																								
極めて不満	0.1%																								
興味の変化	割合																								
非常に高まった	23.4%																								
高まった	50.2%																								
どちらとも言えない	25.5%																								
低くなった	0.1%																								
非常に低くなった	0.1%																								
7 実践において工夫した点（事業の特色）	実際にパラリンピックの種目に授業で触れさせることで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を促進させることができた。また講演会後に感想文を書かせ、振り返りの機会を設けることで、講演会で学んだことをまとめ、自分の今後の人生にどう生かすことができるかを考えさせるよい機会となった。																								
8 主な課題等	全学年を通して、講演会の内容と絡めながら様々な授業（体育など）の中でオリンピック・パラリンピックの内容を深く取り扱えば、さらに内容の理解を促進することができた。																								
9 来年度以降の実施予定	来年度以降も同じようなスポーツ選手による講演会があれば、実施してほしいと思いますか。 326 件の回答  <table border="1"> <caption>来年度以降の講演会実施希望アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>希望度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても思う</td> <td>39.6%</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>30.7%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>24.8%</td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>とても思わない</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> 70.3%の生徒が「実施してほしい」と回答した。 生徒からの要望の声も多数上がっているため、来年以降も機会があれば講演会の実施を検討したい。	希望度	割合	とても思う	39.6%	思う	30.7%	どちらとも言えない	24.8%	思わない	3.1%	とても思わない	0.1%												
希望度	割合																								
とても思う	39.6%																								
思う	30.7%																								
どちらとも言えない	24.8%																								
思わない	3.1%																								
とても思わない	0.1%																								